

ファンドの概要等について

■ファンドの概要

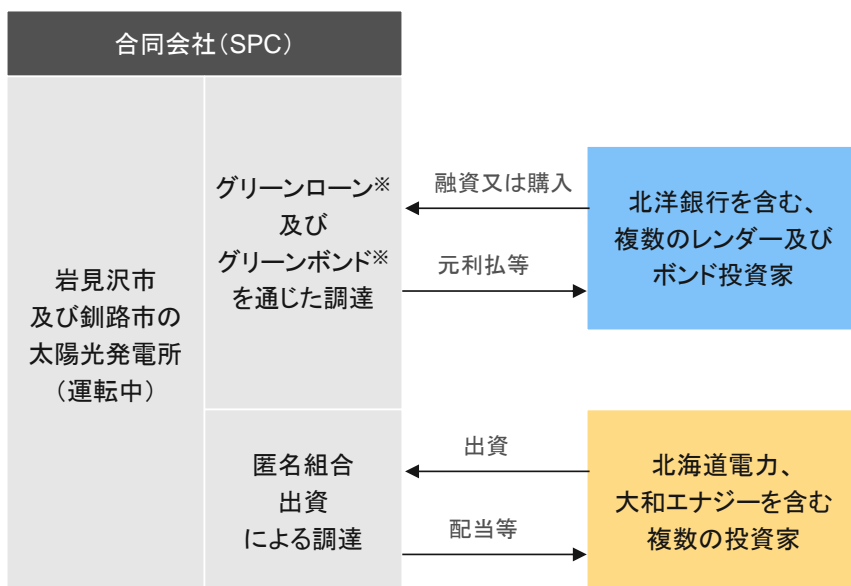
名称	北海道メガソーラー私募ファンド
ファンド会社名	合同会社北海道再エネ推進プラットフォーム
投資対象	下表のとおり
ファンド資産規模	約 50 億円
アセットマネージャー	大和リアル・エステート・アセット・マネジメント株式会社
ファンド出資者	北海道電力株式会社、大和エネルギー・インフラ株式会社他
グリーンボンド及びグリーンローン 資金提供者	株式会社北洋銀行他

■投資対象

発電所名	岩見沢太陽光発電所	釧路益浦太陽光発電所	釧路望洋太陽光発電所
所在地	北海道岩見沢市上幌向町	北海道釧路市益浦	北海道釧路市桜ヶ岡
パネル容量	約 9MW	約 2MW	約 1MW
売電開始時期	2016 年 2 月	2014 年 11 月	2014 年 11 月



■本ファンドの調達スキーム図



※ (株)日本格付研究所による評価(2020年3月27日)
 信用格付評価: A
 グリーンボンド/ローン評価: Green1

■関連各社の概要

大和エネルギー・インフラ株式会社

本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松田守正（まつだ もりまさ）

北海道電力株式会社

本社：北海道札幌市、取締役社長：藤井裕（ふじい ゆたか）

株式会社北洋銀行

本社：北海道札幌市、取締役頭取：安田光春（やすだ みつはる）

■大和証券グループの取り組み

大和証券グループは、リテール、グローバル・マーケット、グローバル・インベストメンツ・バンキング、アセット・マネジメント、投資のコア事業を中心に構成されるアジアを代表する総合証券グループです。2018年度からスタートした中期経営計画「Passion for the Best」2020において、ハイブリッド型総合証券グループとしての「新たな価値」の提供を目指し、社会課題の解決に資する事業の構築につとめております。大和エネルギーは、エネルギー・インフラ分野の資産に対する投資を専門的に行う自己投資部門の中核会社であり、これらの資産を裏付けとした金融商品を開発し、販売することにより、SDGsの達成に貢献することを目指しております。

■ほくでんグループの取り組み

ほくでんグループは、総合エネルギー企業として、ESG をこれまで以上に重視し、今後も北海道の経済やお客さまの暮らしを支え、事業の持続的な成長と持続可能な社会の実現を目指します。北海道の皆さまと共に新たな価値を創り上げる「共創」の考え方に基づき、低炭素化や地域経済の発展へ貢献していきます。

■北洋銀行の取り組み

北洋銀行グループは、銀行業務を中心にリース業務やクレジットカード業務などの金融サービスに係る事業を行っており、地域経済の活性化に貢献すべく多様な金融商品・サービスを提供しております。2018年12月には「北洋銀行SDGs宣言」を表明し、北海道における持続可能な社会の実現に向け取り組んでいます。

■SDGs17 の目標 ※本件は以下 4つの目標に資するものです。



【目標 7】：エネルギーをみんなに そしてクリーンに

太陽光発電への投資を通じた再生可能エネルギーの導入により、クリーンなエネルギー供給を推進します。



【目標 11】：住み続けられるまちづくりを

地域の電源を、地域による運営・出資により支え、地域の電力供給の一端を担うことで、持続可能なまちづくりに寄与します。



【目標 12】：つくる責任つかう責任

再エネ電源をただ建設するのではなく、地域の環境や社会への影響も考えたうえで責任をもって運営し、長期的な視野の下で活用することで、持続可能な社会に貢献します。



【目標 13】：気候変動に具体的な対策を

化石燃料を用いない電源への投資を通じて、二酸化炭素の発生を抑制し、地球温暖化防止に寄与します。

以 上